

## ～肺がん CT 検診を受けられる方へ～

低線量肺がん CT 検診の受診により期待される利益と不利益について

### ～肺がん CT 検診のメリット～

もし肺がんになっていた場合、検診によって早期に病変が発見され、より早期に適切な治療を受けることができ、その肺がんによって死亡することを回避できる可能性があります。また、肺がん以外の呼吸器の病気(肺気腫、肺炎、気管支拡張症、抗酸菌感染症など)や、肺以外の病気(心臓や血管の動脈硬化像、乳がんなど)が発見されることもあります。

### ～偽陽性による経済的・精神的・時間的損害の可能性～

検診の結果が陽性(要精密検査・追加検査)となった場合でも、結果的に肺がんでないこともあります。喫煙する人・喫煙していた人を対象にして肺がんCT検診を行うと、3～6割の人に何らかの“異常な影”が見つかることが報告されています。このうちの9割以上は肺がんではありませんが、“異常な影”の中には肺がんと非常にまぎらわしいものもあるので、約1～2割の人は肺がんとの鑑別のために精密検査や胸部CTによる経過観察が必要になります。

### ～がん検診全体に関わる重要な事項～

検診の結果が陰性であっても、これ以降、肺がんにならないというわけではありません。発育の速い肺がんの場合、次回の検診までの間に自覚症状で見つかることもあります。太い気管支に発生する肺門型肺がんや、発育が非常に早い小細胞肺がんなど、肺がんCT検診では発見されにくい種類の肺がんもあります。

### 「肺がん CT 検診 同意書」

私は、がん検診を受けるにあたり、上記の説明を十分に理解した上で検査を受けることに同意します。また、検査費用についても理解した上で同意します

令和 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_